

平成 28 年度 夏期研修会報告

『クミクミックス ダンボール』（親子ワークショップ）

諏訪教育会 図工・美術委員会
諏訪美術教育研究会

- 1 実施日・場所
・平成28年7月30日（土） ・諏訪教育会館

- 2 参加者
・一般の方 79名
（児童44名，保護者30名，一般5名）
・教育会会員 10名 計 89名



3 実施内容

（1）参加児童・保護者

低学年・高学年に分かれて、円形・正方形・六角形の3種類のダンボール片を材料に、自分のイメージを大切にしながら造形活動（組み合わせる・立てる・つなげる・場所や身の回りのものと組み合わせるなど）を楽しんだ。また、保護者の方々には、子どもたちの造形の意図や思いを感じ取りながら、ともに活動していただくようお願いをし、造形活動を楽しんでいただいた。

（2）教育会会員

子どもたちと一緒に造形活動を楽しんだり、子どもたちとの会話から活動の意図を聞き取ったり感じ取ったりしながら、日常の図工科指導、特に造形遊びにおける指導と評価について考えた。

4 参加者の声



<参加児童>

- 組み合わせるのに「どうやったらいいかなあ」ってよく考えるのに夢中になって、勉強できたなあって思えて嬉しかったです。（3年生）
- ダンボールでこんなにでっかいものがつくれるなんて思っていなかった。工夫したらどんどん頑丈になっていった。（4年生）

<保護者>

- 思いがけない経験でした。終わりがなくて、「もっとこうしたい」と感じました。
- どんどんつなげていったり、まわりのものを利用したり自由な発想が生まれる造形はまさに美術です。

<一般会員>

- 毎回参加して思うのは、身近な材料でありながら、様々な発想が生まれる活動の可能性が見て取れることです。地域活動の参考にとともなりました。
- 親子で造形活動をすることは、コミュニケーションが生まれるよい機会だと思います。

5 成果・来年度への展望

- （1）毎年、身近な素材である「紙」を材料にワークショップを企画している。今年も、親子で造形活動に親しんでいただこうと、3種類のスリット入りダンボールを組み合わせる造形遊びを提案した。保護者の方々には、子どもたちの造形の意図をともに活動する中で感じていただくようお願いして、一緒に楽しんでいただいた。今年は定員を超える数の募集をいただいたので、来年も期待に添えるような内容を考えて、実施していきたい。
- （2）今年材料「3種類のスリット入りダンボール」は、貸出材料として各学校に発信していくので、多くの学校に利用してもらいたい。